北新建設株式会社

虹の街通信

２０１３年 春 ［No.６８］

松戸市西馬橋5-33
TEL:047-344-1714
FAX:047-345-0774
E-mail:hokusin@song.ocn.ne.jp
URL:http://hokusin-k.com/

＜春を彩る紫木蓮＞

新築のしごと　雨楽な家 urac modern

＜Tさんの家 ＞　（松戸市中金杉）

雨楽な家の新築工事です。
3月17日(日)に地鎮祭を行いました。
工事進行中です。

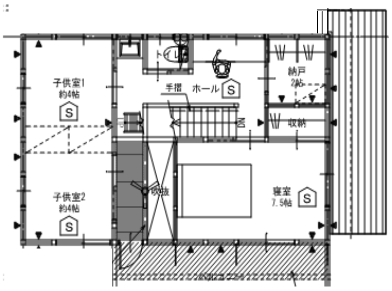
＜イメージスケッチ＞

新築のしごと　Ｙさんの家　２０１３年３月竣工（取手市井野）

雨楽な家 urac modern

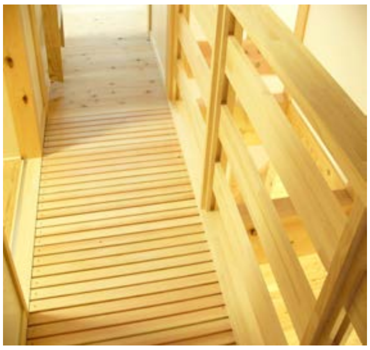
以前、千葉県白井市のご実家の新築工事させていただきました。今回は息子さんご夫婦のお宅です。
２０１２年１２月上棟、２０１３年３月に竣工しました。

＜１Ｆ＞



＜２Ｆ＞

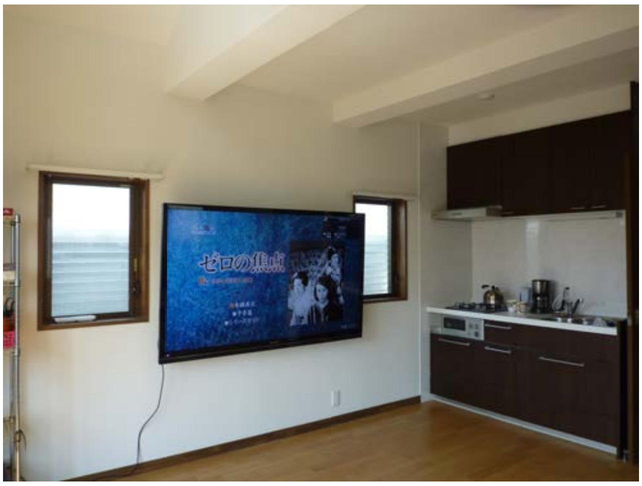
お気に入りは吹抜けのある開放的なリビングダイニングです。大人は家事を、子どもたちはカウンターで勉強したり、遊んだり、家族みんなが自由の過ごせる明るく開放感のある家です。そして庭も素敵なんです。緩やかな曲線を描いた枕木が並ぶアプローチをシンボルツリーを眺めながら歩くのが好きです。世界にたった一つだけの自分達の家、毎日帰るのが楽しみです。（奥様より）



雨楽な家をモデルハウスで見た時、こんな家に住みたいと思いました。暮らし始めて1か月が経ちました。家全体の木の香りと自然の温もりを感じながら毎日生活しています。

最近のしごと　Ｙさんの家：リフォーム工事（松戸市金ケ作）

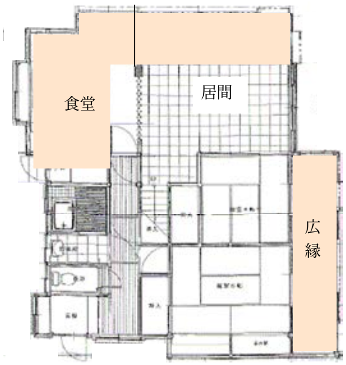
３人のお子さんが独立されたので、子ども部屋２部屋をワンルームにして念願のシアタールームに。日当たりの良いこの部屋は、システムキッチンを設置して、ご夫婦がのんびり過ごせる癒しの空間に。壁面には大画面テレビを、吹抜けにシーリングファンでリゾート気分を満喫しているそうです。

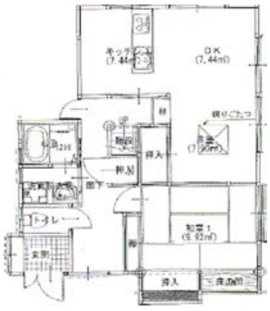


只今工事中です　Ｋさんの家：減築リフォーム工事(市川市八幡）

１階部分の減築リフォーム工事です。
食堂･居間の一部と広縁を解体します。
具体的には、既存の壁の内側に新しい壁を作り、後で既存の壁を壊すことになります。同時に内外装の工事も行います。

・・・解体部分





＜　１階平面図：　工事前　→　工事後　＞

←＜新しい壁施工中＞
既存の壁をはがし、内側に新しい土台になる基礎を作っているところです。

←＜新しい壁完成＞
居間の壁です。
壁が２枚ありますが、新しい壁が出来上がった後、左側の古い壁は壊します。

『エコってなんだろう』　その１４

２０１３.４.２７　朝日新聞　慶応大学教授　片山杜秀さんのインタビュー記事より抜粋して掲載します。

安倍政権は「主権回復・国家社会復帰を記念する式典」を開き、天皇、皇后両陛下も出席する。官僚の靖国神社参拝などと相まって国家主義的な動きが強まっているように見えるが、政治思想史家の片山杜秀さんは「国民国家が崩壊過程にあるからこそ起きる現象だ」と語る。

安倍政権が主権や国防軍、日の丸、君が代といったナショナルなシンボルをやたらと強調するのは、『もう国は国民の面倒はみない。それぞれ勝手に生きてくれ』という、政権の新自由主義的なスタンスと表裏の関係にあります」

「日本という国は明治以来、天皇の下で国民統合が図られてきました。社会党や共産党よりも天皇を仰ぐ私たち保守の方が皆さんを食わせることができますよと、実際に札ビラを見せながらやってきたのが戦後自民党で、しかし今の安倍政権はそういう保守ではもはやない。税金や徴兵など国民に犠牲を強いるかわりに後々までちゃんと面倒みるよ、というのが国民国家ですが、安倍政権の国家観はすでにそこからズレていっています。

「改憲草案では、わざわざ条項を新設し、『家族は、互いに助け合わなければならない』とうたっています。オールド左翼は『天皇を家長とする家族主義的国家の復活だ』といった方向から批判をしていますが、全くピントがずれている。

「草案には天皇の元首化や国防軍の創設なども盛り込まれているため『右傾化』『軍国主義』といった枠組みで批判されがちですが、問題の本質を見誤っています。安倍政権の特質をひとことで言うなら『安上がり』です。国民の面倒はみない、でも文句を言わせないための安上がりな仕掛けをたくさん作っておこうというのが安倍政権の改憲路線です。国民皆兵にして海外で戦争を・・・・・・なんて考えているわけがない。面倒なことは少しでもやりたくないというのが新自由主義ですから」

「ただ、面倒をみなければ当然、国家としての凝集力は弱まります。富裕層は国外に流出するかもしれないし、貧乏人は暴動を起こすかもしれない。以前のようにお金をバラまけないのなら、とりあえずは精神で統合をはかるしかありません。日の丸。君が代。靖国神社。主権回復の日。あるいは国民栄誉賞もそうかもしれませんが、『俺たちは日本人だ』という雰囲気を盛り上げ、つらい目にあっている人ほど持っている『連帯したい』という感情を糾合し、文句を言わせないようにしようと。安倍政権を礼賛している右寄りの人たちは、実は自分たちも切り捨てられる側にいることに気づいていないし、左の人たちは批判のポイントを間違っていて、その意味では両方ともうまくごまかされてしまっています」

「今の安倍政権はビジョンを見せたり約束したりはしてくれません。『美しい国』なんて何の実態もないし、『アベノミクス』もお祭り囃子に過ぎないでしょう。踊れや踊れ、でもその後は自助だよ知らないよと開き直るのは、日本においては新しい統治のパターンです」

＊　＊　＊　＊　＊

農家の所得を１０年２倍にするという。山河を開発し、耕作地を増やそうとでも考えているのか。『「美しい国、日本」を取り戻そう。』ともいう。美しい国とは自然と文化、人々のくらしを守り次の世代に引き継ぐことだろう。歴史と文化、伝統に学ぶことが必要で、成長戦略のためには必要な教訓すら無視してしまう。不穏当な動きをみせる安倍政権、１：９９ の１の方だけに舵を切っていくような気がします。その前に、福島を切り捨てないでほしい。輸出したいほどの原発なら、安全性を徹底的に改善することに本気になってほしい。福一の汚染水は仮設プラントのまま。核廃棄物はどこかの村を札束で押し倒し ”ただ埋める” だけ。ここで唯一エコな成長産業がある。「廃炉ビジネス」である。先行国のドイツに学び夢は広がるだろう。片山先生の言葉にはそれらの裏に巧妙に仕組まれた「仕掛け」があるといいます。(m)

ホームページをリニューアルしました

よりよいページにしてゆきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

URL:http//hokusin-k.com/　です。

[編集後記]

今年初めての虹の街通信です。桜の咲く時期に発行できればよかったのですが、残念ながら間に合いませんでした。毎号ご紹介しています雨楽な家ですが、２０１０年９月の１棟目（Mさんの家）から今回のＹさんの家で７棟目となり、現在８棟目を建築中です。次号も掲載予定です。◆５月のご機嫌いかが葉書でご紹介しています南欧の邸宅をイメージしたcasa carinaは雨楽な家同様に自然素材でつくる家です。ホームページでご紹介していますのでぜひご覧ください（k）